解答: 範囲と分布の見方を確かめる

MomentDesk · https://momentdesk.com/ja/practice/range-distribution-reading/

中1 数学

1. 最小値 = 3 / 範囲 = 9

   最小値は3、最大値は12。範囲は12 − (3) = 9です。

2. 最小値 = −4 / 範囲 = 12

   最小値は-4、最大値は8。範囲は8 − (-4) = 12です。

3. 最小値 = 0 / 範囲 = 9

   最小値は0、最大値は9。範囲は9 − (0) = 9です。

4. 最小値 = −7 / 範囲 = 6

   最小値は-7、最大値は-1。範囲は-1 − (-7) = 6です。

5. 最小値 = 4 / 範囲 = 10

   最小値は4、最大値は14。範囲は14 − (4) = 10です。

6. 最小値 = 10 / 範囲 = 13

   最小値は10、最大値は23。範囲は23 − (10) = 13です。

7. 最小値 = −3 / 範囲 = 14

   最小値は-3、最大値は11。範囲は11 − (-3) = 14です。

8. 最小値 = 2 / 範囲 = 16

   最小値は2、最大値は18。範囲は18 − (2) = 16です。

9. 除く前の範囲 = 28 / 除いた後の範囲 = 4

   除く前の範囲は28。最大値を一つ除いた後は2、4、5、6で、範囲は4です。

10. 除く前の範囲 = 37 / 除いた後の範囲 = 4

    除く前の範囲は37。最大値を一つ除いた後は3、5、5、7で、範囲は4です。

11. 除く前の範囲 = 19 / 除いた後の範囲 = 19

    除く前の範囲は19。最大値を一つ除いた後は1、2、4、20で、範囲は19です。

12. 除く前の範囲 = 23 / 除いた後の範囲 = 9

    除く前の範囲は23。最大値を一つ除いた後は−5、−2、0、4で、範囲は9です。

13. Aの範囲は4、Bの範囲は12である。

    Aは8 − (4) = 4、Bは12 − (0) = 12。範囲は両端の情報で、途中の分布まで決まりません。

14. Aの範囲は6、Bの範囲は8である。

    Aは8 − (2) = 6、Bは9 − (1) = 8。範囲は両端の情報で、途中の分布まで決まりません。

15. Aの範囲は8、Bの範囲は8である。

    Aは9 − (1) = 8、Bは9 − (1) = 8。範囲は両端の情報で、途中の分布まで決まりません。

16. Aの範囲は6、Bの範囲は10である。

    Aは3 − (-3) = 6、Bは5 − (-5) = 10。範囲は両端の情報で、途中の分布まで決まりません。

記述問題の解答・確認の観点

Aは5、5、5、5、15、Bは5、7、9、11、15です。範囲が同じだから分布も同じだ、という説明を直してください。

どちらも範囲は10だが、Aは5へ集まり、Bは途中にも値がある。両端が同じでも分布は同じではない。

途中の値に触れ、一つの指標から全体を断定しないか確認します。

気温の架空の記録−6、−2、0、5について、範囲を−6 + 5 = −1としました。誤りを直してください。

最大値5から最小値−6をひくので5 − (−6) = 11。範囲は11度。

数直線での隔たりやひく順序と、正しい単位を確認します。

記録に一つだけ大きな値がありました。範囲を小さくするためだけに、その値を削除してよいですか。

それだけでは削除の根拠にならない。単位、測定条件、元の記録や入力を確かめ、実際の値なら分布の一部として説明する。

都合のよい結果に合わせて値を消さず、記録の根拠を確かめる判断を見ます。